



# 町田が誇る美術館で 芸術に触れながら文化振興に携わる

## 町田市立国際版画美術館友の会

The Machibito — Chitaki ni Ikiru

豊かな緑溢れる芹ヶ谷公園の中にある町田市立国際版画美術館は、1987年にオープンした版画専門の美術館。葛飾北斎や歌川広重などをはじめ、収蔵作品は国内外3万点以上にも及ぶ。2階の展示室のほか1階の市民展示室、版画工房、アトリエ、講堂などが併設され、「観る」だけでなく、「作る」そして「発表すること」もでき、町田が誇る文化・芸術活動の拠点となっている。

**昨** 年開催された『横尾忠則 HANGA JUNGLE』は大盛況で、連日大勢の来場者が押し寄せた。町田駅から歩ける立地、自然の中の美しい美術館として、国際版画美術館の魅力は申し分ない。その美術館を支える市民団体が国際版画美術館友の会だ。

**国** 際版画美術館友の会は、国際版画美術館の開館10周年を機に発足した。発起人は町田名誉市民で、東京都名誉都民でもある造形美術家の故・三橋國民氏。版画に特化した極めて専門性の高い国内でも稀少な美術館の存在をもっと知ってもらい、実際に足を運んでもらいたい、そういった趣旨で立ち上がった。

現在、会員は二百数十名。主な活動は、秋に美術館と共催で行われる「ゆうゆう版画美術館まつり」や毎年2、3月に行われる会員展、森のコンサートの開催、近隣エリアの美術館巡りなどだ。また、版画制作の講習会やサークル活動も盛んで、情報共有のための会報誌の発行も行っている。

と、そして年2回開催される版画美術館の内覧会にボランティアとして参加し、著名な芸術家たちと直接触れ合う貴重な体験ができることだ。

**現** 在、会長を務めているのは町田市で様々な地域活動にも携わってきた武藤充氏。

「町田市内や近隣にお住まいの方々に、もっともこの美術館に親しんでいただきたい。国際版画美術館は、施設はもとより、収蔵作品の内容、運営体制ともに素晴らしい、市民として誇れる『宝』。それを支える友の会はさらに活動の幅を広げていく必要がある。美術館の友の会には、そこにおいて専門性を発揮する学芸員と協力し、美術の素晴らしさや美術館の持つ潜在能力を広く一般の方々に伝えて

いく役割があると考えます。」

版画美術館のファンを増やしてその魅力を広めていく。そして、この版画美術館のあるべき方向性を美術館とともに真剣に模索し、このまちの文化レベルの底上げを図ろうと活動を展開する友の会。文化や芸術に触れながら、豊かなまちづくりに貢献することができ、市民協働の活躍の場がある。



ABCD. 毎年10月に開催される「ゆうゆう版画美術館まつり」では、木版画摺り体験やトークショー、キッズ・アートスペースほか、学生によるアートイベントや物販なども行われる E. 友の会会長の武藤充氏 F.G. 2017年4月から6月にかけて行われた『横尾忠則 HANGA JUNGLE』展。内覧会には映画監督の山田洋二氏や女優の大和悠河さんも来場した